

## 赦されることを通して

校長 野村 昌孝

早いもので2025年も残り1か月となりました。ついこの前まで残暑の厳しい日が続いていたように思いますが、ほんの数週間の間に秋を通り越して一気に冬かと思えるような季節に様変わりしました。皆様におかれましては、くれぐれも体調に気を付けてお過ごしいただきますようお願いいたします。

学校では行事の後や区切りの時期には「ふりかえり」を行います。大人にとってもふりかえりは大切ではないかと思えます。年末を迎えるにあたって私も自分自身のこの1年間をふりかえてみると、本当にたくさんの失敗をした1年だったとあらためて感じます。

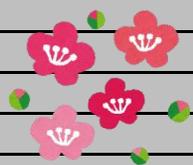
私はこれまで数々の失敗をしています。かつてこのようなことがありました。私が教頭になってすぐの、PTAの担当をしていた時のことです。会議の開始時間19時30分を過ぎても来られるはずのPTA会長が来られないのです。おかしいと思って確認の電話をしたところ、自分がPTA会長に会議の開始時間を誤って30分遅く伝えていたのです。私のせいでPTA会長は30分遅刻、その時の私は「やってしまった…」と会議中ずっと落ち込んでいたのです。会議後、すぐに当時の校長先生に「私が間違えて時間を伝えてしまいました。すみませんでした。」と、叱られるのを覚悟してただただ平謝り…。その時、校長先生からは予想外な言葉をもらったのです。「野村先生も人間だということが分かりました…」と私を全く責めることなく、独特の言い回しで言われたのです。叱られると思っていたのに予想外の答え…。この時私は、「この校長先生についていこう。私はこれまで以上にこの学校のために自分のできる限りのことを精一杯やっていこう」と決意を新たにしました。この時、「お前は何をやっているのだ。こんなこともできないのか!」と叱られていたらどうだったでしょう。校長先生は私が反省をしているのを感じ取り、そのように声を掛けてくださったのだと思います。この「失敗を赦された経験」は、今の自分の考え方の重要な一部分にもなっているのです。

大人がたくさん失敗をするのですから、子どもが失敗するのは当然のことです。失敗をすることは子どもにとっての「権利」あるいは「通過儀礼」とも言えます。そしてたくさんの失敗から子どもたちは多くのことを学び大人になっていくのです。ですから、我々は子どもの失敗について、もっと寛容であるべきだと思うのです。そして「赦す」ということは現代の社会の中で最も欠けていることのように思います。子どもたちの人間関係のみならず、職場での人間関係、家族や夫婦間の関係等々、「赦し合う」ことがしにくい風潮になってきているように思えます。当然厳しさは必要ですが、それだけでは窮屈で生きにくい。だからこそ子どもたちが「赦されることの安心感」を感じ、それをこれからのエネルギーにして歩いてほしいと思うのです。

2026年、どのような年になるかわかりませんが、子どもたちが自分の失敗におびえず、前を向いて歩いていく、そのような1年になることを願ってやみません。

## 12月おもな学校行事

日	曜日	行事
1	月	8年生高校訪問PM
2	火	
3	水	
4	木	委員会活動⑧
5	金	前期課程給食後下校
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	クラブ活動⑦
10	水	3~9年生探究交流会
11	木	
12	金	4年生歯と口の健康づくり講座4限 5・6年生ジュニア京都検定 2・8年生つながりタイム 6年生パラリンピック協会授業2~4限
13	土	
14	日	
15	月	個人懇談会
16	火	個人懇談会 6年生薬物乱用防止教室
17	水	個人懇談会 前期5組合同行事
18	木	
19	金	個人懇談会 後期5組科学センター学習
20	土	
21	日	
22	月	個人懇談会
23	火	登校班集会
24	水	2学期終業式 ゾーン30 給食終了
25	木	冬季休業期間(~1月6日) 授業予備日
26	金	授業予備日
27	土	学校閉鎖期間(~1月4日)
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	



## 1月の主な予定

- 7日(水) 3学期始業式 給食開始
- 8日(木) 委員会活動 4~6年生身体計測
- 9日(金) 1s+5組身体計測
- 13日(火) 生活リズム点検(~16日まで) 1年生身体計測
- 14日(水) 2年生身体計測
- 15日(木) 3年生身体計測
- 16日(金) 第3回授業参観
- 20日(火) 21日(水) 9年生第4回テスト
- 22日(木) 校内研究授業
- 23日(金) 7・8年生学習確認プログラム
- 27日(火) 8年生生き方探究チャレンジ体験(~30日まで) クラブ活動
- 30日(金) 6年生音楽鑑賞教室

